

平成 24 年度

(公社) 日本技術士会東北本部 応用理学部会

部 会 定 期 総 会 資 料

日時：平成 24 年 5 月 18 日 (金) 14 時 00 分～15 時 00 分

場所：仙台市戦災復興記念館 4 階 第 1 会議室

仙台市青葉区大町 2 丁目 1 2-1

TEL 022-263-6931

部会総会次第

1. 部会総会議事 14 時～15 時

(1) 開会宣言

(議長選出)

(2) 議事

- ①平成 23 年度活動報告
- ②平成 23 年度会計報告
- ③監査報告
- ④平成 24 年度活動計画 (案)
- ⑤平成 24 年度会計予算 (案)
- ⑥その他

(3) 閉会宣言

2. 特別講演 15 時～17 時

講師：横山隆三氏 (株)横山空間情報研究所)

演題：「新しい地理空間情報“立体地形解析図”の利活用」

3. 意見交換会 17 時 30 分～19 時 30 分

場所： レストラン トップ (戦災復興記念館 2 F)

会費： 4,000 円 (予定)

1. 平成 23 年度活動報告

1.1 部会会員数

東北本部応用理学部会 正会員 82 名 (平成 24 年 3 月現在)

1.2 活動報告

①総会：平成 23 年 5 月 13 日(金)16 時 00 分～17 時 00 分

意見交換会：さなぶり；17 時 15 分～19 時 15 分

会費 4,000 円

②平成 23 年度見学会：参加者 12 名

テーマ：東北中央自動車道栗子トンネル見学会

日時：平成 23 年 10 月 7 日(金) 12 時 30 分～16 時

見学場所：東北中央自動車道栗子トンネル(福島側)

案 内：福島河川国道事務所(藤田工務第二課長)，担当 JV(清水・大豊特定建設工事共同企業体)

参加費：会員・非会員とも 1,000 円

③研修会：参加者 32 名(講師除く)

テーマ：「防災・減災に役立つ地形地質情報の公開

～東北地方の活断層からボーリングデータまで～」

日時：平成 23 年 7 月 8 日(金) 15:00～17:00

場所：ハーネル仙台3F 蔵王(A)

仙台市青葉区本町2-12-7

電話 022-222-1121

講師：「みちのく GIDAS 運営協議会」(東北 GIS 研究会)

東北大学大学院工学研究科 森友宏氏

(株)テクノ長谷 布原啓史氏

参加費：会員・非会員・一般 1000 円

④役員会 平成 23 年 4 月 22 日(金)、5 月 13 日(金)、6 月 10 日(金)、7 月 8 日(金) 8 月 19 日(金)、9 月 16 日(金)、10 月 14 日(金)、12 月 9 日(金)、2 月 10 日(金)

(太字は技術サロン開催日)

- ⑤東北福祉大とのパートナーシップ協約にもとづく活動
防災ボランティアセンター主催
「地震・津波につよいまちづくり実行委員会活動」：委員 守屋副部会長
- ⑥ 技術サロン：4回開催；参加者延べ41名
- ・ 仙台市民会館、情報産業プラザ、戦災復興記念館
6月～12月隔月第2金曜日(8月は第3)；18時～20時30分
会費 1000円/回
6/10, 8/19/, 10/14, 12/9 実施
 - ・ 第1回 平成23年6月10日(金)
 - 1) 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震とその被害
今野隆彦氏 ((有)ジオプランニング、幹事)
 - 2) 地形・地質者が見た大地震
守屋資郎氏 (監事、(株)パスコ)
 - ・ 第2回 平成23年8月19日(金)
 - 1) 3.11 東日本大震災津波体験記
中里俊行氏 ((有)ジオテクノ中里産業、副部会長)
 - 2) 里山での避難所運営の体験談
佐藤一夫氏 (NPO法人防災・減災サポートセンター、顧問)
 - ・ 第3回 平成23年10月14日(金)
 - 1) 流れ盤の岩盤すべりと対策
今野隆彦氏 ((有)ジオプランニング、幹事)
 - ・ 第4回 平成23年12月9日(金)
 - 1) 震災に関する森林3話
守屋資郎氏 ((株)パスコ、監事)
 - 2) 地熱調査のよもやま話
黒墨秀行氏 ((株)総合土木コンサルタンツ、副部会長)

2. 平成23年度会計報告

応用理学部会 平成23年度 会計決算(案)

	決算	H23年度予算	対比
総収入	342,128	613,127	△ 270,999
総支出	282,456	563,127	△ 280,671
繰越金	59,672	50,000	9,672

【収入の部】

科目	決算	H23年度予算	対比	摘要	
H22年度繰越金	H22年度繰越金	63,122	63,122	0	
支部交付金	支部交付金	100,000	100,000	0	
	小計	163,122	163,122	0	
事業収入	総会	54,000	40,000	14,000	交流会費
	見学会	12,000	60,000	△ 48,000	参加費
	技術サロン	41,000	40,000	1,000	4回開催、会費1000円
	研修会	72,000	100,000	△ 28,000	参加費、交流会費
	地震防災WG活動	0	0	0	
	パンフレット印刷費	0	105,000	△ 105,000	宮城県技術士会より10.5万円
	パンフレット頒布金	0	105,000	△ 105,000	NPO防災・減災サポートセンター
雑収入	雑収入	6	5	1	銀行利息
	小計	179,006	450,005	△ 270,999	
総収入		342,128	613,127	△ 270,999	

【支出の部】

科目	決算	H23年度予算	対比	摘要	
事業費	総会	74,500	50,000	24,500	交流会費
	見学会	0	80,000	△ 80,000	
	技術サロン	45,558	40,000	5,558	4回開催、会場費ほか
	研修会	115,043	110,000	5,043	謝礼、交流会会費ほか
	地震防災WG活動	0	10,000	△ 10,000	
	パンフレット印刷費	0	210,000	△ 210,000	
	小計	235,101	500,000	△ 264,899	
管理費	会議費	21,110	10,000	11,110	幹事会会場費
	通信費	25,930	25,000	930	HP管理費
	事務雑費	315	1,000	△ 685	
	予備費	0	27,127	△ 27,127	
	小計	47,355	63,127	△ 15,772	
総支出		282,456	563,127	△ 280,671	

対前年決算
H23予算-H23決算
-は△で表示

注) 対比は予算を基準として示した。

対比 = (決算) - (予算) マイナスは△で表示


3. 監査報告

監 査 報 告 書

平成 23 年度の事業および会計を、帳簿ならびに証拠書類により監査した結果、相違なく、適正に処理されていることを確認しました。

平成 24 年 4 月 12 日

(社) 日本技術士会東北本部 応用理学部会

監事 守屋 資郎 

4 . 平成 24 年度 活動計画 (案)

① 平成 24 年度総会 : 平成 24 年 5 月 18 日 (金)

総会 14 時～15 時

特別講演 15 時～17 時

講師 : 横山隆三氏 (株横山空間情報研究所)

演題 : 「新しい地理空間情報 “立体地形解析図” の利活用」

意見交換会 17 時 30 分～19 時 30 分

会費 4,000 円

② 平成 24 年度見学会

テーマ : 東北の地熱発電

日時 : 平成 24 年 10 月末

見学場所 : 松川地熱発電所ほか

共催 (予定) : 岩手県技術士会、(社)岩手県地質調査業協会

③ 平成 24 年度研修会 : 平成 24 年 11 月または 12 月

テーマ : ①津波堆積物関連または②除染関連

講師、会場 : 未定

④ 役員会

平成 24 年 4 月 20 日 (金)、5 月 18 日 (金)、**6 月 8 日 (金)**、**8 月 17 日 (金)**、

9 月 14 日 (金)、**10 月 12 日 (金)**、11 月 9 日 (金)、**12 月 7 日 (金)**、

2 月 15 日 (金)

(太字は技術サロン開催前日)

⑤地震防災 WG

・パンフレット「地震から身を守る～マイマップのすすめ～」の印刷配布 (技術士会宮城県支部と連携予定)

⑥東北福祉大とのパートナーシップ協約にもとづく活動

防災支援課主催

「地震・津波につよいまちづくり実行委員会活動」: 委員 守屋氏

東北福祉大 地域減災論 I 講師 守屋氏

⑦ 技術サロン : 4 回開催・・・市民センター他の公共施設

6 月～12 月隔月第 2 土曜日 (8 月は第 3); 13 : 30～16 : 30

会費 1000 円/回

6/9, 8/18, 10/13, 12/8 開催予定

5. 平成24年度 会計予算（案）

応用理学部会 平成24年度 会計予算(案)

	H24年度予算	H23年度決算	対比
総収入	819,678	342,128	477,550
総支出	770,000	282,456	487,544
繰越金	49,678	59,672	△ 9,994

【収入の部】

科目	H24年度予算	H23年度決算	対比	摘 要	
前年度繰越金	H23年度繰越金	59,672	63,122	△ 3,450	
本部交付金	本部交付金	90,000	100,000	△ 10,000	
	小計	149,672	163,122	△ 13,450	
事業収入	総会	60,000	54,000	6,000	交流会費
	見学会	360,000	12,000	348,000	参加費18,000円×20名
	技術サロン	40,000	41,000	△ 1,000	4回開催、会費1000円
	研修会	70,000	72,000	△ 2,000	参加費、交流会費
	地震防災WG活動	0	0	0	
	パンフレット印刷費	40,000	0	40,000	宮城県支部防災委員会
	パンフレット頒布金	100,000	0	100,000	NPO防災・減災サポートセンター
雑収入	雑収入	6	6	0	
	小計	670,006	179,006	491,000	
総収入		819,678	342,128	477,550	

【支出の部】

科目	H24年度予算	H23年度決算	対比	摘 要	
事業費	総会	94,000	74,500	19,500	講演謝礼、交流会費ほか
	見学会	360,000	0	360,000	謝礼、宿泊費、バス代ほか
	技術サロン	40,000	45,558	△ 5,558	4回開催、会場費ほか
	研修会	80,000	115,043	△ 35,043	謝礼、交流会会費ほか
	地震防災WG活動	10,000	0	10,000	
	パンフレット印刷費	140,000	0	140,000	
	小計	724,000	235,101	488,899	
管理費	会議費	20,000	21,110	△ 1,110	幹事会会場費
	通信費	25,000	25,930	△ 930	HP管理費
	事務雑費	1,000	315	685	
	予備費	0	0	0	
	小計	46,000	47,355	△ 1,355	
総支出		770,000	282,456	487,544	

注) 対比は前年決算を基準として示した。

対比 = (H24 予算) - (H23 決算) マイナスは△で表示

以上

(公社) 日本技術士会 東北本部 応用理学部会 規約

平成 15 年 4 月 11 日制定

平成 17 年 6 月 10 日改正

平成 18 年 5 月 12 日改正

平成 20 年 5 月 8 日改正

第 1 条 名 称

本部会は「公益社団法人 日本技術士会(以下、技術士会)東北本部 応用理学部会」(略称「東北 応用理学部会」と称する。

第 2 条 目 的

本部会は、

- 1) 専門技術の観点から技術士会に協力する。
- 2) 技術士の職業倫理の確立と地位の向上を図る。
- 3) 部会員の技術の向上を図る。
- 4) 部会員相互の親睦を図る。
- 5) 専門技術を通し地域社会へ貢献する。

こと等を目的とする。

第 3 条 部 会 員

部会は、応用理学部門に合格した技術士会会員および準会員をもって構成する。

第 4 条 役 員

本部会は、上記目的を達成するため、次の各号に掲げる役員を置き円滑な部会の運営にあたる。

部会長	1 名
副部会長	2 名
幹事	若干名
監事	1 名

本部会は顧問を置くことができる。顧問は、本部会活動の活発化および円滑な運営を図るため、第 7 条で規定する会議に出席し、意見を述べることができる。

役員任期は 1 期 2 年とし、再任を妨げない。ただし、部会活動活性化のため、部会長は最長 2 期を限度とする。

第 5 条 役員を選任

1. 部会長は、部会総会において選任し、支部長に報告する。
2. 幹事は、部会長が部会員の中から委嘱し、総会に報告する。
3. 顧問は、役員会が推薦し、総会に報告する。
4. 監事は部会長が推薦し、総会で承認を得る。

第 6 条 役員の仕事

1. 部会長は、部会を代表し、全般を総括し、必要に応じて日本技術士会東北本部の役員会で部会に関する意見を述べるができる。
2. 副部会長は、部会長を補佐し部会長に事故があるときは、その仕事を代行する。
3. 幹事は、部会の年次計画案を作成、実行、その他事務事項を担当する(部会員の連絡事項を含む。)

4. 監事は、部会の経理状況及び業務の執行の状況を監査する。更に、役員会に出席して職務に対する意見を述べることができる。

第7条 会議の種類

本部会の会議は、総会、役員会とする。

第8条 総会

1. 総会は定期総会及び臨時総会とし、部会長が召集する。
2. 定期総会は、原則として支部総会前に開催する。
3. 臨時総会は、次の各号に該当する場合に開催する。
 - ①役員会において必要と認めた場合
 - ②部会員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示し請求があった場合
 - ③前項の規定により臨時総会を開く請求があったときは、部会長は、速やかに総会を招集しなければならない。
4. 総会の議長は部会長が務める。
5. 定時総会及び臨時総会は部会員をもって構成し、委任状等を含めて2分の1以上の出席がなければ開くことができない。

第9条 総会の議事

1. 総会においては、この規約に規定するものの他、次の各号に示す事項を議決する。
 - ①前年度活動報告及び決算の承認に関する事項
 - ②年次活動計画及び予算の決定に関する事項
 - ③役員会において総会に付議する必要があると認めた事項
2. 総会の議事は、出席者の過半数をもって定める。

第10条 規約の変更

本規約の変更は、役員会の3分の2以上の同意を以って発議し、総会において出席した部会員の3分の2以上の同意を以って成立する。

第11条 役員会

1. 役員会は構成員の2分の1以上の出席を以って成立し、次の事項を審議する。
2. 役員会の議長は部会長が努める。ただし、都合で部会長の指名により一任された者が会議を推進することができる。
3. 役員会の内容は、その都度議事録を作成する。
4. 役員会に付議する事項は、部会の運営に関することを原則とする。

第12条 部会活動

部会活動は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる活動を行う。

1. 本部会並びに他の部会との連携を図り、共通の課題に対する、討議、意見の交換及び行事の共催
2. 国、地方公共団体、民間等の国内の組織団体との技術交流並びに海外の科学技術関係の技術者との交流
3. 科学技術に関する調査並びに文献及び資料の収集
4. 科学技術に関する研修、講演会、見学会等の開催

- 5・専門技術により地域に貢献するため地方公共団体等からの相談・依頼があった場合業務を受託し行うことができる。
- 6．科学技術に関する情報の交換、新技術の修得及び意見交換等を目的とする行事の開催
- 7．部会員相互の親睦を図るための行事の開催
- 8．前各号に掲げるものの他、本部会の目的を達成するために必要な活動

第13条 会費等

年会費は当面の間、無料とし、各行事毎に参加費を徴収する。

第14条 事業年度

本部会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。